

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS1103
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表、グループ学習等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (中等) の単位を取得してから履修することが望ましい。中学校教諭、高等学校教諭の資格取得を目指す者とする。		
7. 講義概要	<p>教育課程とは、教育機関 (学校) がその教育目標 (学校の教育目標) を達成するために児童・生徒に提供する教育内容と学習経験の組織である。本講義では教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することを目的としている。</p> <p>まず教育課程の思想や教育課程編成の方法原理・理論を取り上げ、教育課程を編成する上で基本的な概念について学習する。そして学習指導要領における教育課程編成の目的について理解を深め、学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶ。さらに学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することの大切さについて学んでいく。</p> <p>これらの学習を通して、学習指導要領の基本的方向について理解し、教師として必要となる資質・能力の基礎を養う。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程の思想や理論、教育課程と教育評価の関係を学ぶことによって、教育課程編成の方法に関する基本的な用語や概念を理解し、説明することができる。 2. 学習指導要領における教育課程編成の目的や学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶことを通じて、教育課程の意義を理解することができる。 3. 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することを学び、学校の教育課程全体を評価し、マネジメントする上での基本的な知識を身に付け、活用することができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 単位時間ごとにキーワードを含めた要点をまとめて提出すること。 ○ 自分の意見や考えをもって、話し合い活動に自発的に参加すること。 ○ 学修したことを生かして「これからの教育課程」について考え、最終回に小論文にまとめること。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 齋藤義雄『教育課程論—カリキュラムマネジメント入門』大学図書出版、2018</p> <p>【参考資料】 中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成績評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程編成に関する基本的な用語や概念を理解することができたか。 ・ 学習指導要領における教育課程の意義を理解することができたか。 ・ 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解することができたか。 ○ 評定の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・ 課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・ 期末評価 (レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	教育課程は、児童生徒への全教育活動に関わる基本的な考えを示すものです。児童生徒の成長を促し、意欲を高めるために大切な学びとなります。学校での実践と関連させて積極的に学修することを期待します。		
13. オフィスアワー	授業日の授業時間以外の時間になります。随時授業時間内で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	【オリエンテーション】講義の概要や成績評価方法等を知る。教育課程の概要を知る。	事前学習	教科書で近代の教育方法の歴史を調べる。
		事後学習	教育課程の定義・構造・変遷を整理する。
第 2 回	○ 教育課程に関する法制及び行政等について調べる。学ぶ意義を確かめる。	事前学習	通学した学校の時間割について考えておく。
		事後学習	教育課程を学ぶ意義についてまとめる。
第 3 回	○ 教育の基本的な方法と技術について調べる。教育方法や学習指導の方法を知る。	事前学習	教育方法と学習指導の方法の違いを調べる。
		事後学習	教育方法と学習指導の方法を整理する。
第 4 回	○ 学習指導要領の改訂の変遷を調べる。学習指導要領のキーポイントを確かめる。	事前学習	学習指導要領「総則」を読んでくる。
		事後学習	学習指導要領のキーポイントをまとめる。
第 5 回	○ 「総合的な学習の時間」の創設の経緯と実践事例を調べる。	事前学習	「総合的な学習の時間」の経験を述べる。
		事後学習	趣旨と実践事例とのかかわりを整理する。
第 6 回	○ カリキュラムマネジメントの理論と実践を調べ、そのモデルを知る。	事前学習	カリキュラムマネジメントについて調べる。
		事後学習	実践のモデルを確認する。
第 7 回	○ カリキュラム評価と学校評価との関係性を調べる。	事前学習	学校評価の事例を調べる。
		事後学習	学校評価の具体例をまとめる。
第 8 回	○ カリキュラムマネジメントの実施プロセス・評価について調べる。	事前学習	カリキュラムマネジメントの事例を調べてくる。
		事後学習	カリキュラムマネジメント実施の方策をまとめる。
第 9 回	○ アクティブ・ラーニングの実践について調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングの定義を調べる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングの意義をまとめる。

第10回	○アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの関係について調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの違いを調べてくる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラムマネジメントの連動についてまとめる。
第11回	○「社会に開かれた教育課程」とカリキュラムマネジメントの関係調べる。	事前学習	「社会に開かれた教育課程」資料を調べてくる。
		事後学習	「社会に開かれた教育課程」の理念と背景についてまとめる。
第12回	○「開かれた学校づくり」とカリキュラムマネジメントの関係調べる。	事前学習	「開かれた学校づくり」の資料を調べてくる。
		事後学習	望ましい教育環境についてまとめる。
第13回	○学校単位におけるカリキュラム開発と学校経営の関係について調べる。	事前学習	学校経営の資料を調べてくる。
		事後学習	カリキュラムと学校経営の関係を整理する。
第14回	○カリキュラムマネジメントと学校評価のPDCAサイクルの意義について調べる。	事前学習	学校評価の事例を調べてくる。
		事後学習	学校評価の実施方法について整理する。
第15回	○「これからの教育課程」について考え、小論文に書いてまとめる。	事前学習	これまでの教育課程についての学びを振り返る。
		事後学習	これからの教育課程についての自己の考えをもつ。